



【選出された豊田執行委員長（左端）と2016年度執行部】

上之濱執行委員が開会の挨拶を行い、御所執行委員が資格審査を発表し大会成立を宣言。議長に山口晃代議員を選出して議事を進めた。

岩崎執行委員長は、「国労結成70年の節目の年、24年間闘ってきたJR不採用問題の解決に自信をもって新規加入を推進しよう」と挨拶。安全・安定輸送の闘いでは、この一年間で雪害や大村線のシステムの不備など4回の会社への申し入れを行った点を報告し、災害時の呼び出しの問題など、「私たちが声を出さないと会社は動かない」と総括した。

真子九州本部委員長は、「若い力の50号冊子について、「会社との交渉でも欠かせない基本的な内容となっており職場での活用を」と訴えた。

新執行部

豊田新委員長

書記長に上之濱執行委員 岩崎委員長は退任

長崎地区本部 第20回定期大会

第20回長崎地区本部定期大会が11月9日、九州労働金庫長崎支店4階会議室で開催された。大会構成員のほか来賓、傍聴者など約30人が参加。新組織案を含む今後一年間の闘う運動方針が採択された。



【退任の岩崎前委員長】

また、熊本地震災害に対して全国から集まった義援金を熊本県庁へ寄付を行ったことを報告した。

議題では、懸案の長崎地区二分会の統合が提案され了承された。長崎事務所の移転についても経緯が報告された。

討論では、分会組合員の年齢的な範囲など新分会の規約作成について（木寺）、新分会結成時の主導する主体について（米満）などの発言があった。

役員改選では、岩崎執行委員長が退任し、新執行委員長に豊田書記長、新書記長に上之濱執行委員が選出された。



【議長の山口代議員】

1966年に旧総評が「ベトナム反戦統一スト」を実施し、同時に全世界の反戦運動団体にもベトナム戦争反対を呼びかけたことに由来する「10・21国際反戦デー」長崎地区集会在10月21日、長崎市中町公園で開催された。

長崎地区労平野議長は、11月に交代となる南スーダンへのPKO派遣部隊に付与しようとしている「駆けつけ警護」の任務を強く批判し、豊かな生活と平和を守ろうと訴えた。

集会では、違憲訴訟や沖縄県民の闘いの支援、「いのち」と「くらし」の尊厳や平和的生存権が一人ひとりに保障される政治と社会の実現をめざすとする集会決議が採択された。

220名が参加。（豊田、俵坂、米満）

豊かな暮らしと 平和を守ろう

10.21国際反戦デー



【集会の後デモ行進を行った】